

大学教育改革と図書館

小山憲司(日本大学文理学部)

koyama.kenji@nihon-u.ac.jp

第54回中国四国地区大学図書館研究集会
@岡山大学創立五十周年記念館 2013年10月10日

目次

- 大学教育改革と図書館（概観）
- 学習・教育を支援する図書館を考える
 - 学習空間
 - コンテンツ
 - 人的支援
- (学習・教育支援面での) 今後の課題

大学教育改革と図書館

年月日

政策

- | | |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2008年12月24日 | 「学士課程教育の構築に向けて(答申)」
(中央教育審議会) |
| 2010年12月 | 「大学図書館の整備について(審議のまとめ)ー変革する大学にあって求められる大学図書館像ー」
(科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会
学術情報基盤作業部会) |
| 2012年8月28日 | 「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて
(答申)～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」(中央教育審議会) |
| 2013年5月28日 | 「これからの大学教育等の在り方について(第三次提言)」
(教育再生実行会議) |
| 2013年6月14日 | 「教育振興基本計画(第2期)」 |
| 2013年8月21日 | 「学修環境充実のための学術情報基盤の整備について(審議のまとめ)」(科学技術・学術審議会 学術分科会 学術情報委員会) |

学士課程教育の構築に向けて(答申)

- 知識基盤社会の進展と21世紀型市民の育成
- グローバル化が進むなかで、学習成果を重視する国際的な流れ
- 大学全入時代における教育の質保証 など

3つの方針の策定

アドミッション ▶ カリキュラム ▶ ディプロマ

単位制度の実質化

教職員の職能開発
(FD、SD)

新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて
～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～

生涯にわたって学び続ける力、
主体的に考える力をもった人材の育成

学生の主体的な学修

事前準備

授業受講

事後展開

新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて ～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～

4. 求められる学士課程教育の質的転換 (学士課程教育の質的転換)

生涯にわたって学び続ける力、主体的に考える力を持った人材は、学生からみて受動的な教育の場では育成することができない。従来のような知識の伝達・注入を中心とした授業から、教員と学生が意思疎通を図りつつ、一緒になって切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長する場を創り、学生が主体的に問題を発見し解を見いだしていく能動的学修(アクティブ・ラーニング)への転換が必要である。すなわち個々の学生の認知的、倫理的、社会的能力を引き出し、それを鍛えるディスカッションやディベートといった双方向の講義、演習、実験、実習や実技等を中心とした授業への転換によって、**学生の主体的な学修を促す質の高い学士課程教育を進めることが求められる。学生は主体的な学修の体験を重ねてこそ、生涯学び続ける力を修得できる**のである。

新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて
～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～

学生の主体的な学びを促すことで、
単なる知識の獲得だけでなく、
学びかたを学ぶことによって、
生涯にわたって必要な知識や技
術を自ら獲得していく力を
育成すること

新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて ～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～

8. 今後の具体的な改革方策

①速やかに取り組むことが求められる事項

(文部科学省等)

文部科学省等には、大学の主体的な取組を支える観点から、以下のような取組が求められる。

(イ) 各大学における全学的な教学マネジメントの下での改革サイクルの確立を促進するため、教学に関する制度の見直しを図るとともに、基盤的経費や国公立大学を通じた補助金等の配分に当たっては、例えば、組織的・体系的な教育プログラムの確立など、十分な質を伴った学修時間の実質的な増加・確保をはじめ教学上の改革サイクルの確立への取組状況を参考資料の一つとする。

その際、TA等の教育サポートスタッフの充実、**学生の主体的な学修のベースとなる図書館の機能強化**、ICTを活用した双方向型の授業・自修支援や教学システムの整備など、学修環境整備への支援も連動させながら充実する。

新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて ～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～

図書館の機能強化について (資料編： 関連データ p.76)

千葉大学(アカデミック・リンク・センター)

多様な学習ニーズに対応する快適・安全な学習空間・コンテンツ・人的学習支援

上智大学

図書館改修によるラーニング・コモンズの展開

大学図書館の整備について(審議のまとめ)

—変革する大学にあって求められる大学図書館像—

1. 大学図書館の機能・役割及び戦略的な位置付け

(3) 大学図書館に求められる機能・役割

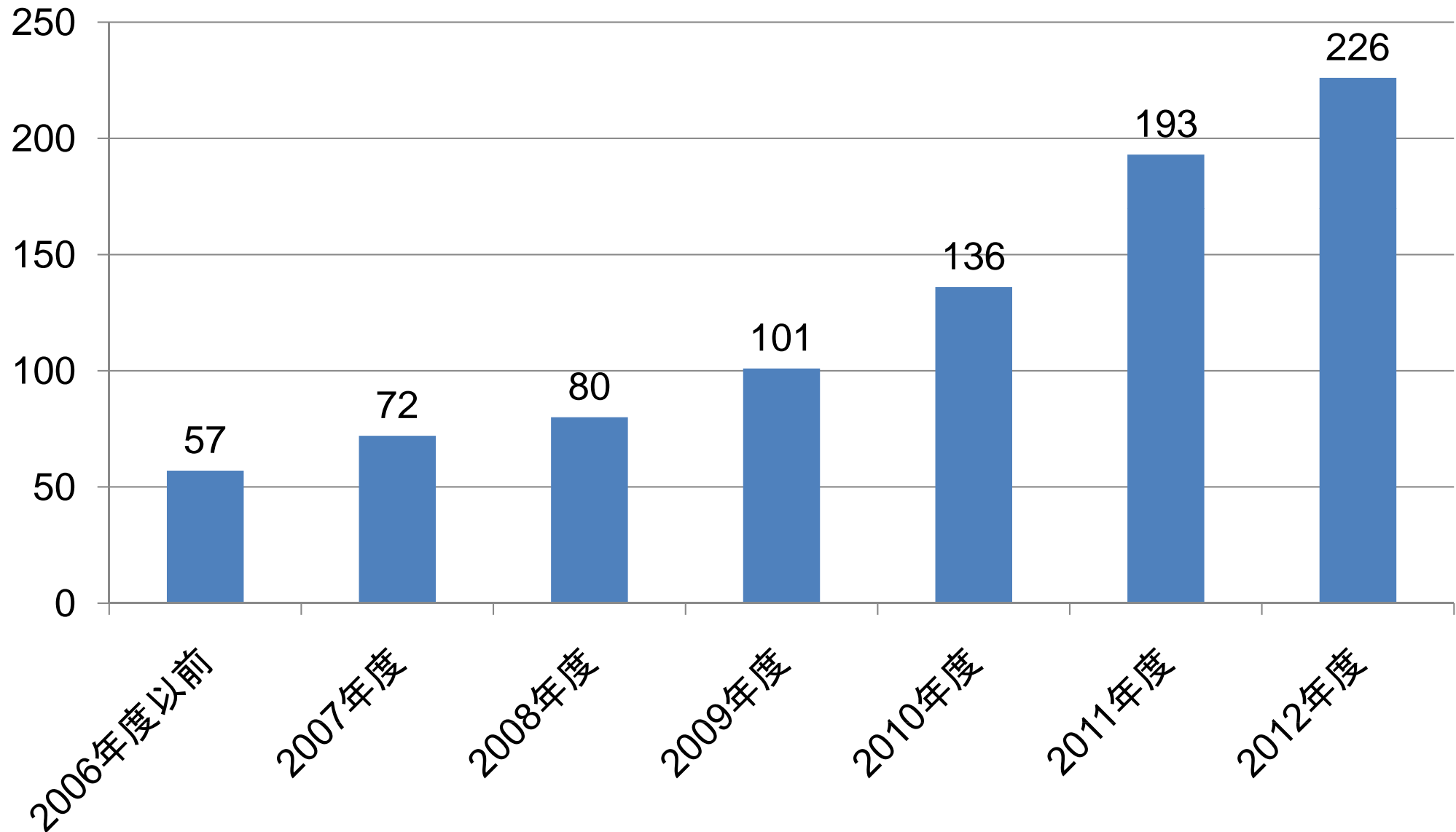
① 学習支援及び教育活動への直接の関与

ア. 学習支援

最近の大学においては、学生が自ら学ぶ学習の重要性が再認識され、その支援を行うことが大学図書館にも求められている。近年、整備が進められているラーニング・コモンズ、図書館職員等によるレファレンスサービスや学習支援は、このような要請に応える方策といえる。

ラーニング・コモンズは、複数の学生が集まって、電子情報資源も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」を提供するものである。その際、コンピュータ設備や印刷物を提供するだけでなく、図書館職員等が、それらを使った学生の自学自習を支援することも重要である。

アクティブ・ラーニング・スペースを設置する 図書館数の推移



これからの大学教育の在り方について (第三次提言)

1. グローバル化に対応した教育環境づくりを進める
2. 社会を牽引するイノベーション創出のための教育・研究環境づくりを進める
3. 学生を鍛え上げ社会に送り出す教育機能を強化する
4. 大学等における社会人の学び直し機能を強化する
5. 大学のガバナンス改革、財政基盤の確立により経営基盤を強化する

これからの大学教育の在り方について (第三次提言)

各大学における学習環境整備の例(参考資料 p.16)

小樽商科大学

アクティブラーニングのための教育環境整備

同志社大学

ラーニング・コモンズの整備

早稲田大学

ライティングセンターの整備

閑話休題

情報社会の進展

- ・モバイル、ユビキタス...
- ・コンテンツのデジタル化
- ・サービスのデジタル化

コンテンツ

行かなくても
○○できる

学習空間としての
図書館(LC)

行かないと
○○できない

のだけれど...
かもしれないが...

行くと
○○できる

- ・魅力がある
- ・メリットがある

学修環境充実のための学術情報基盤の整備について
(審議のまとめ)(平成25年8月21日)



学習・教育を支援する図書館を考える

学習空間

((場としての)ラーニング・コモンズ)

コンテンツ(コレクション)

コンテンツを発見、利用するためのしかけ

人的支援

学習空間としての図書館

- 多様な学習スタイルを受容
- 人的支援

多様な学習スタイルを受容



個別学習

孤独な学習



グループ
学習

参考:

学修環境充実のための学術情報基盤の整備について (審議のまとめ)

3. 今後の展開における考え方

上記の課題等を踏まえ、大学として、学生の学習時間をどう確保して、より良いものにしていくかという中で、各教科の特性を考慮しつつ、アクティブ・ラーニングを位置づけ、授業を受ける教室や自主学修のための図書館を中心とした**物理的空間**とICTの活用によりコンテンツの相互利用を図る**仮想空間**を組み合わせ、**効果的な学修を展開するための基盤整備を推進**することが重要である。

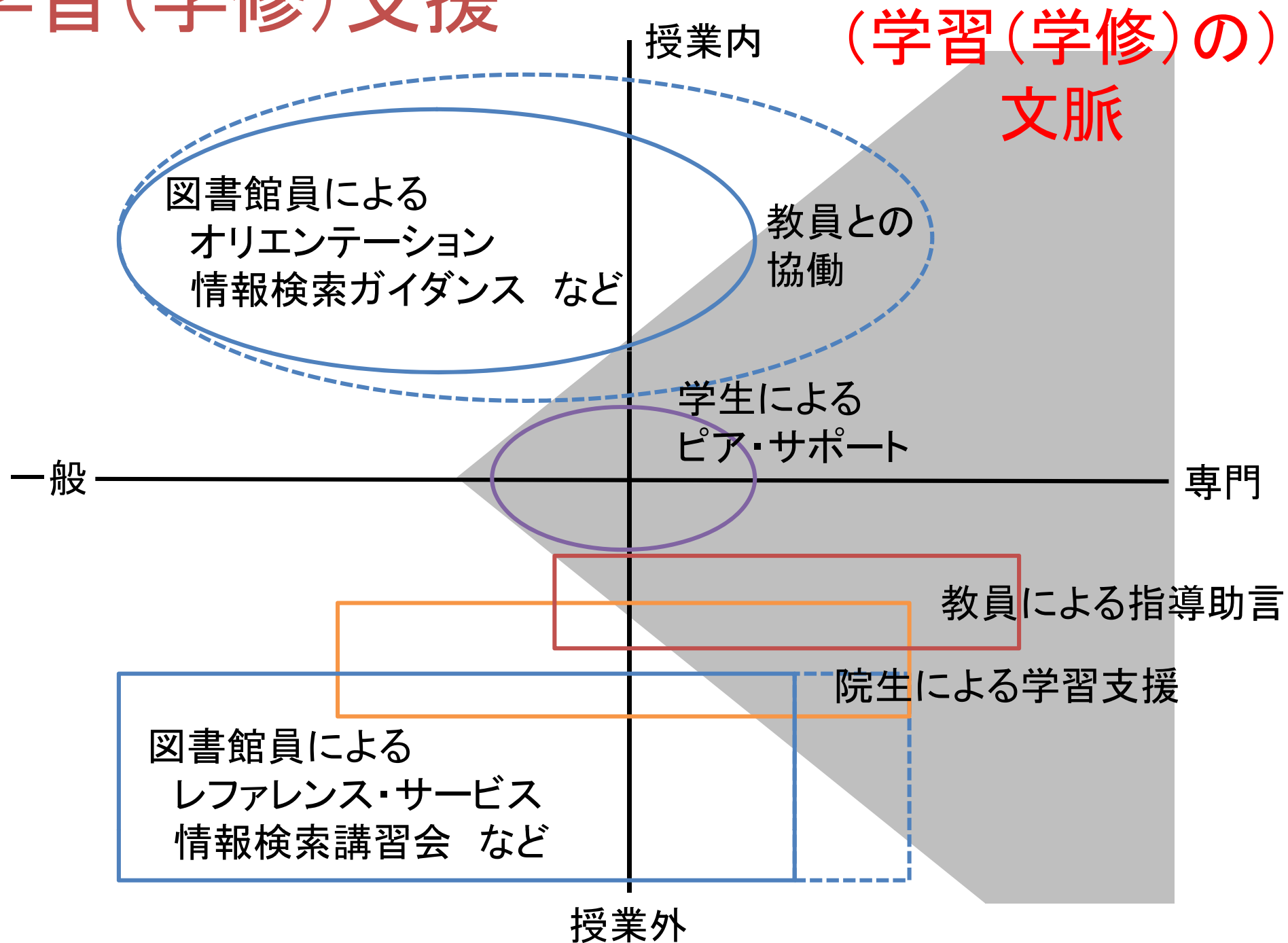
人的支援

- 多様な学習空間への対応
 - リアル空間
 - バーチャル空間
- 多様な担い手
 - 大学院生・学生
 - 教員
 - 職員
 - そして図書館員



サポートの存在を
“見える化”

学習(学修)支援



大学院生・学生

- ① サービスの再考・創出の機会
- ② 学生のニーズのインフォーマルな把握
- ③ 利用者(学生)が質問しやすい環境の実現
- ④ 学習の機会・実践の場の提供

(出典: 呑海沙織, 溝上智恵子. 大学図書館におけるラーニング・commonsの学生アシスタントの意義. 図書館界, 2011, vol. 63, no. 2, p. 180.)

大学院生・学生

- ① サービスの再考・創出の機会
- ② 学生のニーズのインフォーマルな把握
- ③ 利用者(学生)が質問しやすい環境の実現
- ④ 学習の機会・実践の場の提供

(出典: 呑海沙織, 溝上智恵子. 大学図書館におけるラーニング・commonsの学生アシスタントの意義. 図書館界, 2011, vol. 63, no. 2, p. 180.)

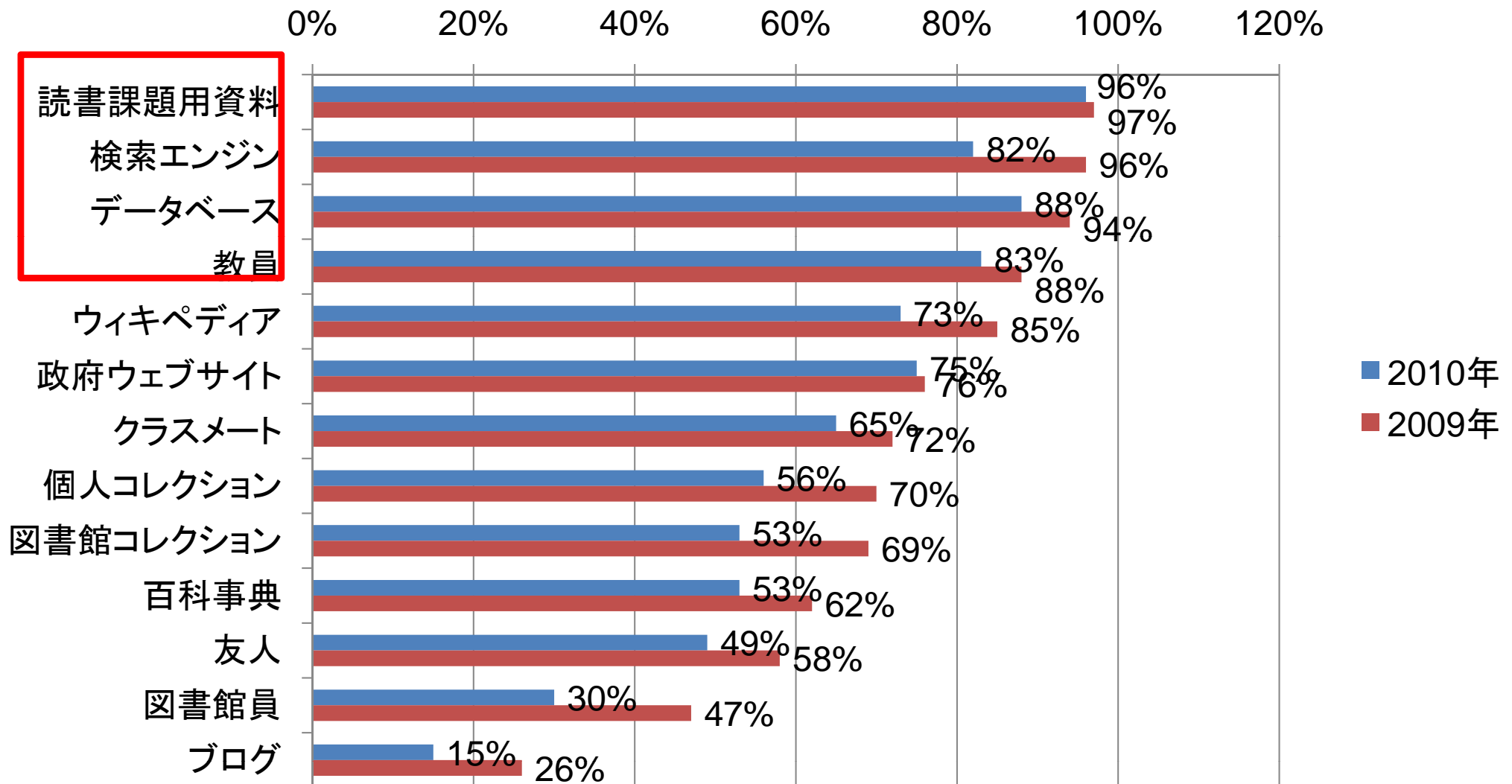


任せきりにしていないか？

アクティブ・ラーニングと図書館

- アクティブ・ラーニング＝能動的学習
- 学生の“自主性”に任せるだけでよい？
- 学生の“主体的”な学びを引き出すには？
 - もちろん、教員（カリキュラム、学ぶ動機、コンテキスト、インセンティブ）の存在は大きい
 - アカデミック・スキルを身につけてもらうこと
 - 相応の環境を用意すること

ワシントン大学の研究グループの調査結果 にみる学生の利用行動



(出典: Head, Alison J. and Michael B. Eisenberg. "Truth Be Told: How College Students Evaluate and Use Information in the Digital Age," Project Information Literacy Progress Report, University of Washington's Information School, 2010, p. 7.)

洗練されたコンテンツ

教員は、ネット社会に抗して、文献を利用することで、学習が進むように授業を組み立てる必要がある。図書館も、蔵書構成を不断に見直し、学生教育に密着した蔵書構成を実現しなければならない。(中略)

そのためには、職員は教員と共同するとともに、教員の教育活動を理解し、かつ意見を持てる力量を養わなければならない。

図書館と図書館職員が、大学の基本的責務である学生教育をいかに担うかと言い換えてもいい。職員は、学生が必要としている文献について、少なくとも探索する手段に関しては、学生以上に精通して当然である。

アカデミック・スキルの修得

第2回 「情報の探索と表現」コンテスト

情報探索のスキル向上を目的として、第2回「情報の探索と表現」コンテストを実施します。コンテストでは、本学図書館で利用可能なオンライン・データベース「AFP World Academic Archive(AFP WAA)」を利用します。コンテストの詳細については、募集要項をご確認ください。募集要項は、「図書館ホームページ」または大学および短大図書館内の各カウンターにて配布しています。



応募資格

青山学院大学(大学院・科目履修を含む)および
青山学院女子短期大学(専攻科・科目履修を含む)の学生

募集部門とテーマ

募集部門3部門：部門A(個人)・部門B(グループ)・部門C(個人)

テーマ：部門A・B

「雑誌記事をつくろう！～日本の知らない世界、世界の知らない日本～」

テーマ：部門C

「ニュースにオリジナルの英語見出しをつけよう！」

コンテンツの編集（パスファインダー）

Home - 2012 EU資料展「デンマーク展：アンデルセンの世界」 - LibGuides at 香川大学

kagawaunivlib.libguides.com/content.php?pid=416562

Instapaper: Read Later

事例 - LibGuidesのガイド - Cute.Guides at 九州大学 Kyushu University

Home - 2012 EU資料展「デンマーク展：アンデルセンの世界」 - LibGuides at 香川大学

KADAI 図書館 **香川大学 図書館** Kagawa University Library

香川大学図書館 » LibGuides » 2012 EU資料展「デンマーク展：アンデルセンの世界」 管理者ログイン

2012 EU資料展「デンマーク展：アンデルセンの世界」 Tags: denmark, eu, eu_friendship_week, kagawa_univ_eui

EUの立法機関のひとつである「EU理事会」（閣僚理事会）の議長国として、2012年上半年はデンマークが担当することから「デンマーク展：アンデルセンの世界」を行う。

最新更新日: Jan 4, 2013 | URL: <http://kagawaunivlib.libguides.com/content.php?pid=416562> | [プリントガイド](#) | [RSS更新](#) | [SHARE](#) | [f](#) | [t](#) | [e](#)

Home | アンデルセンの生涯 | アンデルセンの作品「即興詩人」 | アンデルセンの作品「雪の女王」 | アンデルセンの作品「人魚姫」 | アンデルセンの作品「標の王様」

デンマーク地理・気候 | **デンマークの行政・教育・医療（1）** | **デンマークの行政・教育・医療（2）**

Home | [コメント\(0\)](#) | [プリントページ](#) | 検索: WorldCat

デンマークについて

デンマークは、北ヨーロッパのバルト海と北海に挟まれたユトランド半島と、その周辺の多くの島々からなる国。北欧諸国の1つであり、海を挟んでスカンジナビアの国々、南にはドイツと国境を接している。デンマークの首都は、シェラン島にあるコペンハーゲンである。首都が島にある国としては、大陸を領有しているヨーロッパ諸国の中では、唯一デンマークのみである。また、旧デンマークの植民地であったグリーンランドとフェロー諸島はデンマーク王国の自治領（海外領土）となっている。

国名：デンマーク王国
United Kingdom of Denmark
面積：43,000平方km（グリーンランドとフェロー諸島を除く）

開催概要



eu | 日・EUフレンドシップウィーク

2012上半期EU資料展
デンマーク展
アンデルセンの世界

平成24年7月23日(水)～8月10日(月)
香川大学図書館中央館2階展示コーナー

香川大学EU情報センターでは2010年から毎年EU資料展の中で議長国を紹介しています。2012年のEU上半期議長国は「デンマーク」

プロフィール



北條 充敏

[f](#) [t](#)

連絡先
香川大学学術室情報図書グループ
香川県高松市幸町1-1
電話：087-832-1241 FAX：087-832-1265
[電子メールを送る](#)

リンク先:
[ウェブサイト/ブログ](#)

閑話休題

コンテンツ

情報
・モノ
・コン
・サ-

+αの価値を発信し続ける

「学生たちの活動の拠点」となるような環境(雰囲気)をつくる

学
図

行かないと
○○できない



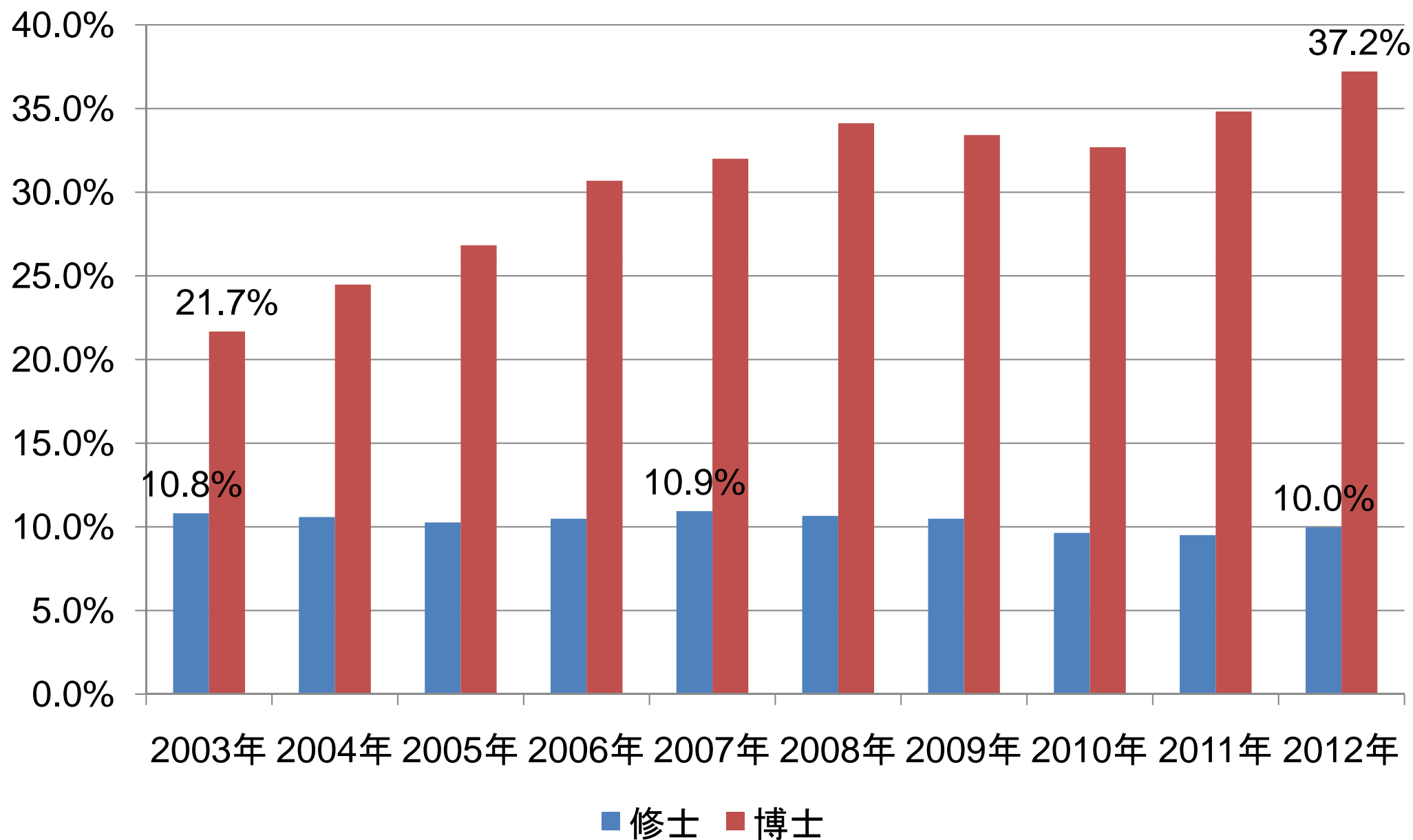
行くと
○○できる

- ・魅力がある
- ・メリットがある

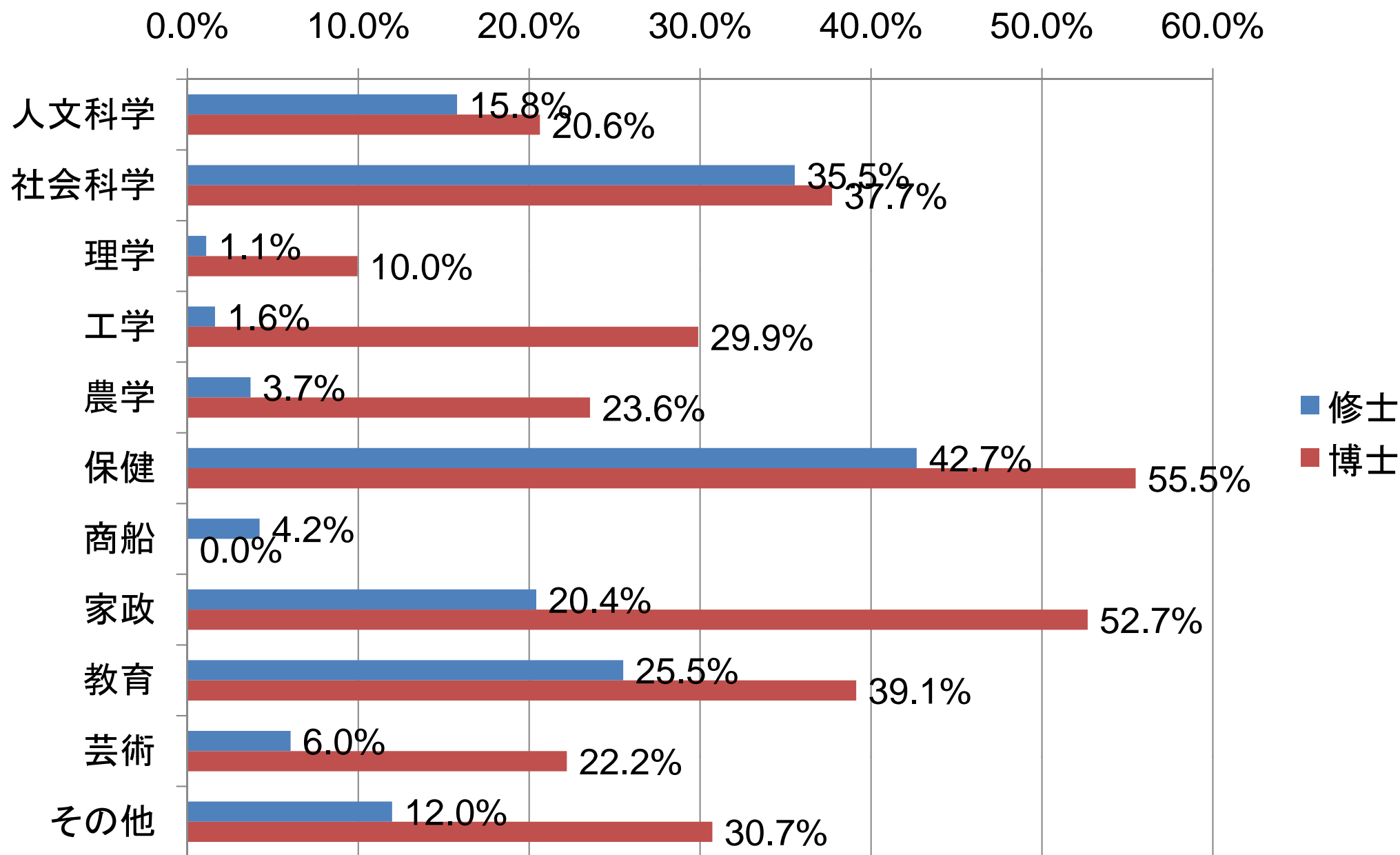
(学習・教育支援面での)今後の課題

- 学生の多様化に合わせた学習支援
- 教育支援
- マーケティング
 - 図書館サービスの実績を把握、分析し、報告(情報発信)する
 - それに基づいた、新しいサービスを開発する

社会人大学院生(入学者数)の推移



社会人大学院生の専攻分野別



参考:

学修環境充実のための学術情報基盤の整備について (審議のまとめ)

2. 学修環境の充実に資する学術情報基盤整備の在り方
 - c. 更なる学修環境充実のために推進すべき取組
 - ii) 基盤確立のための運営体制の強化

(図書館の機能強化)

○ 大学において、学修環境充実に関わる3要素を集約的に機能させているのは図書館であることから、その効果的活用と機能強化は喫緊の課題である。

アクティブ・ラーニングの推進において、図書館が教育面でより積極的に関与していく観点から、**教材等の資料作成を支援していく体制を構築すべき**である。図書館は、これまでの資料を集めて管理して利用を促すという機能から、資料を**学生や教員と協力して**作っていくところまで踏み込むことが重要であり、このような流れが定着することにより、図書館の性格が変化していくものと考えられる。

その結果、学修環境として刺激的な空間を提供するだけでなく、学内の教員に授業に対する新しいアイデアの構築を促すことも期待される。

参考:

学修環境充実のための学術情報基盤の整備について (審議のまとめ)

2. 学修環境の充実に資する学術情報基盤整備の在り方

c. 更なる学修環境充実のために推進すべき取組

ii) 教育内容の標準化と効果の分析

(教育・学習効果の分析・検証)

○ (略)

デジタル化の進展に伴って、学生の様々な学習データが集められるようになってきており、LMS(ラーニングマネジメントシステム)の導入による学習データ管理も進展しつつあるが、このような多様な学習データについては、プライバシーの対象として単に保護するのではなく、個々の学生に対する指導のために活用すべきである。

認証システムによる利用者制限等を適切に施した上で、データに対して多方面から解析を行い、学生の学習到達度などを含めた情報として利活用できるシステムを構築できれば、学習効果の評価が可能になるとともに、オーダーメイド型の教育など、学生に対する教育の仕方や教材の内容も変化すると考えられ、大学教育の新しい局面が期待できる。

参考文献

- 「場としての大学図書館：ラーニング・コモンズがもたらすもの」『現代の図書館』2013.6, 51巻2号, p.81-90.
- 「大学図書館の「あたらしいかたち」：ラーニング・コモンズをとおして見るあらたな役割と課題」『大学マネジメント』9巻7号, 2013.10.(刊行予定)